

防犯のすすめ

地域みんなで取り組む防犯対策

犯罪者は地域の目を嫌います。安心安全なまちにするためには、自主的な防犯活動が欠かせません。地域の自主防犯活動をしている団体を紹介します。

防犯のカギは

地域の「目」



近年、関東を中心に闇バイト関連の強盗事件が連続発生しています。連日の報道を見て、不安に感じている人も多いのではないのでしょうか。

そこで今月号は、地域みんなで取り組む防犯対策と自分や家族で取り組む防犯対策をそれぞれ紹介します。

犯罪被害に遭わないために、防犯対策を見直してみませんか？

阿下喜パトロール隊



自分たちのまちは自分たちで守る

12月7日(土)、青色回転灯を付けた車で北勢町阿下喜地区を巡回する様子を取材。公共施設の駐車場や店舗、神社や駅などをくまなく確認しました



「自分たちの姿を見せることも犯罪発生の抑止力になっています」と話した隊員たち



代表
陰地 吉照さん

平成16年に発足した「阿下喜パトロール隊」は、安心安全なまちづくりのために、地区の住民が有志で集まり、現在16人で活動しています。週に一度の夜間パトロールのほか、小学校周辺の清掃、八幡祭の警備なども行っています。代表の陰地さんは「自分たちでまちを守るため、できることをしています。以前より地区内の犯罪が減少したので、効果を感じます」と話してくれました。

本郷防犯ボランティアの会



歩くだけでも意味がある

11月30日(土)、令和6年の最後の活動日取材。この日は藤原町本郷地区の中を二手に分かれて不審者がいないか巡回しました



会長
種村 照孝さん

18年以上前から、地区の住民が有志で活動する「本郷防犯ボランティアの会」。不審者や不審火がないかと目を光らせながら、4週間に一度の夜間巡回を続けています。会長の種村さんは「巡回は、お金をかけずに取り組める防犯対策です。みんなで歩くだけでも防犯の意味があると思います。無理のない範囲での活動を大切に、安心なまちにしたい」と話してくれました。



「見知らぬ人がいたら声をかけよう」「空き家にも注意を払ってほしい」と呼びかける会のメンバー

「ながら防犯」も効果的



阿下喜駐在所
篠田さん

地域の「目」を増やしましょう！

日常の中で、防犯の視点を持って周囲を見守る活動を「ながら防犯」と言います。通勤・通学のついでに、買い物や犬の散歩のついでに、周囲に異変がないか見守ることで、犯罪を未然に防ぐことができます。

まちをキレイにして犯罪を抑制

窓割れ理論を知っていますか？

建物の窓が割れているのを放置すると、誰も注意を払っていない印象を与え、他の窓も割られてしまう傾向が高くなることを「窓割れ理論」と言います。まちをキレイにすると、犯罪やいたずらの抑制につながります。



voice



本郷在住 近藤さん

いつも防犯ボランティアさんが活動してくれているので、安心します。頼りになります。

パトロール隊が居てくれることで、まちの犯罪を未然に防いでくれていると思います。



阿下喜在住 森嶋さん

防犯パトロールをしませんか？

防犯パトロール物品を貸し出します

自主防犯団体の活動を支援するために、防犯パトロール物品を貸し出します。貸し出し品は、帽子・ベスト・車用マグネット・腕章・誘導灯・回転灯です。希望する人は、総務課まで連絡してください。

問 総務課 T 86-7745



家を狙った犯罪

家族や自分で取り組む防犯対策

侵入窃盗について、どのような対策が必要なのでしょう？
いなべ警察署生活安全課の田代弘志さんに話を聞きました。



いなべ警察署 生活安全課
田代 弘志さん

「入りにくい」家にしましょう

泥棒は、侵入できそうな家を選んでいきます。彼らは、侵入窃盗するために必ず下見を行い、住人の不在時間や鍵のかかっていない窓などを見えています。いなべ市では鍵のかかっていない家が多く見受けられるので、まずは「施錠の徹底」に取り組みましょう。「在宅中でも施錠」が基本と覚えてください。

泥棒は、侵入に5分以上かかると約7割が諦めると言われています。シャッターや雨戸を閉めることで侵入に時間をかけさせ、諦めさせることができます。雨戸が無い場合は、補助錠や防犯フィルムを取り付けましょう。

また、泥棒は光を嫌います。センサーライトを付けたり、不在と思わせないように部屋の電気を点けっぱなしにしたりすることも有効です。

そして、防犯砂利などの音が出るものも非常に嫌がります。

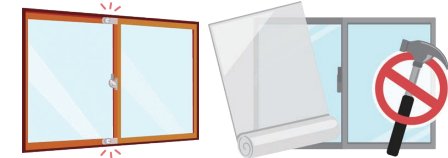
防犯意識の高いことが見てわかる家には、泥棒は寄り付きません。簡単に取り組めることから対策して、「入りにくい」と思わせましょう。

キーワードは
「家に入れさせない」



自宅を守る防犯対策

窓に補助錠や防犯フィルムを付ける



センサーライトや録画機能付きインターホン、防犯カメラを取り付ける。
ステッカーも効果的



現金は金融機関に
保管し、家で保管
しない

窓からの侵入が多いので、施錠を徹底し、雨戸やシャッターを閉める

車の中に鞆（貴重品）を置いたままにしない

勝手口の鍵のかけ忘れが多いので、施錠の徹底を！

玄関には複数のロックを付ける。高い位置への増設が効果的

家の周囲は普通の砂利よりも大きな音が鳴る防犯砂利を敷く

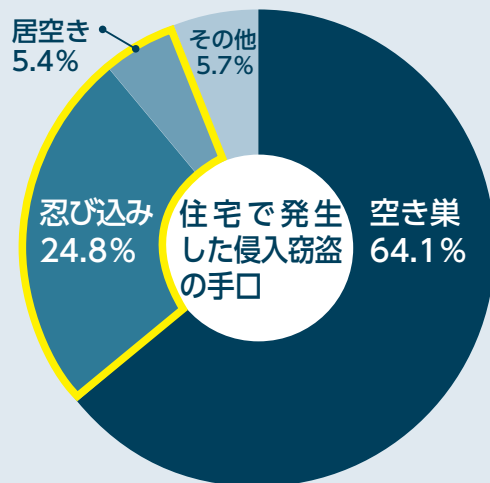
家に入れさせない！



犯罪者が訪問者を装って住人の情報を聞き出そうとする場合もあります。うっかりと「息子は遠方で、普段は一人暮らし」などと話して、家族構成に関する情報を与えないようにしましょう。

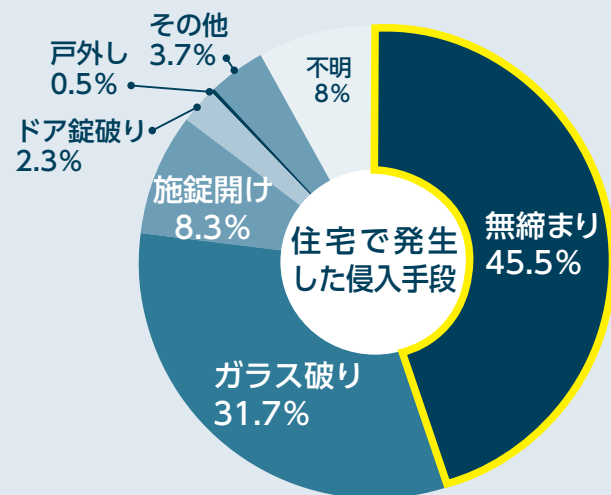
見慣れない訪問者には、インターホンや玄関ドア越しに対応し、家の中に入れさせないようにしましょう。

在宅時の侵入が3割



「忍び込み」は住人が夜間就寝中に侵入されることで、「居空き」は住人が在宅中に侵入されることです。在宅中の侵入は侵入窃盗全体の約3割を占めます。犯人と鉢合わせするリスクも高いので、在宅中でも必ず施錠をしましょう。

約半数が「無締まり」で侵入



住宅で発生する侵入窃盗の侵入方法は、鍵のかけ忘れの「無締まり」が一番多く、全体の半数近くを占めます。面倒でも、ゴミ出しなどの数分の外出であっても施錠を徹底しましょう。

出典：警察庁「令和5年の刑法犯に関する統計資料」

闇バイト関連の強盗事件

インターネットやSNSで、闇バイトとして犯行の下見役や実行役を募集し、実行犯・かけ子・受け子などの役割分担をして組織的な犯罪を行います。バールで玄関をこじ開けるなど、強引な手口が特徴です。



対策

シャッターや複数ロックなどで簡単に家に入れさせないような対策を行いましょう。もし侵入されてしまった場合に、すぐに110番できるように、就寝時でも携帯電話を身近なところに置いておきましょう。

子どもを狙った犯罪

合言葉は「いかのおすし」

犯罪者は、子どもだけになる瞬間を狙っています。子どもが犯罪被害に遭わないためには、周囲の大人の見守りだけでなく、子ども自身が防犯意識を持つことも大切になってきます。家庭内で、繰り返し防犯に対して話し合う機会を作りましょう。合言葉は「いかのおすし」です。

いかない



知らない人にはついて行かない

のらない



声をかけられても車には乗らない

おおこえでさけぶ



少しでも「嫌だな」「怖い」と思ったら大声で叫ぼう・防犯ブザーを鳴らそう

すぐにげる



お店や大人がいるところまですぐに逃げよう

しらせる



「怖いな」と思ったことは周囲の大人に話そう

日常の中で防犯の目を光らせて子どもを守りましょう



員弁地区生活安全協会
事務局長 阿部 基之さん

安心安全なまちづくりのため、防犯の啓発活動を行っている員弁地区生活安全協会。毎年、新小学1年生へ防犯ブザー、新中学1年生へ自転車のワイヤーロックを寄贈しています。事務局長の阿部さんに話を聞きました。「子どもが一人で遊んでいたら声を掛けるなどして、家庭と地域で協力し、子どもを犯罪者から守りましょう。子どもの下校時に犬の散歩をしたり、仕事帰りに近所に目を配ったりして、日常生活の中で、防犯の目を光らせてほしいです」

地域で守ろう

「子どもをまもるいえ」を知っていますか？

「子どもをまもるいえ」は、子どもたちが登下校時などに、「不審者からの声かけ、ちかん、つきまとい行為」などを受け、身の危険を感じたときに避難場所として駆け込み、住民が一時的に保護して警察に通報する制度です。



太田 巧さん

voice

自宅が以前の通学路沿いだったこともあり、「子どもをまもるいえ」の活動に協力しています。子どもたちが少しでも安全に登下校できれば、犯罪の抑止力にもなるので、これからも続けていきたいです。

高齢者を狙った犯罪

発端は固定電話から

ある日、電話が…



ある日突然、自宅の固定電話に警察官を名乗る者から「あなたのキャッシュカードが不正利用されています」との電話が。巧みな話術で電話を切らせないようにして、個人情報聞き出そうとします。

どうしたらいいの？



この通話は録音しています

在宅時でも留守番電話設定にしましょう。留守番電話応答メッセージを「特殊詐欺被害防止のため、留守番電話にしています」と変更しましょう。犯罪者は録音を嫌います。通話録音できる警告装置を付けるのも効果的です。

詐欺の事例を知って、防犯意識を高めよう

老人会や自治会の集会での「防犯教室」



地域で防犯の話をする事は、地域全体の防犯意識の向上につながります。写真は、11月に開催した員弁町の石仏長楽会主催の「防犯教室」の様子。質疑の時間に特殊詐欺の手口についてたくさんの質問が出ました。

特殊詐欺被害防止寸劇
「だまされるな！特殊詐欺」



12月にいなべ市民生委員・児童委員が主催した「特殊詐欺被害防止寸劇」の様子。パソコンに「ウイルスに感染」の文字が出て、表示されたサポートの電話番号にかけると、コンビニでギフトカードを買うように指示されるという実際の被害事例を役者が演じました。



点検商法に注意！

点検商法とは、無料または格安で点検した後に「このままでは大変なことになる」と不安をあおり、高額な工事などを契約させる訪問販売の事です。突然の訪問業者は安易に信用せず、家に入れないようにしましょう。

訪問販売や電話勧誘販売で断り切れずに契約したとき、契約日を含む8日以内であればクーリングオフできる場合があります。困ったときは、消費生活相談窓口まで相談してください。

☎ いなべ市消費生活相談窓口 ☎ 86-7833 (月・水・金 10:00～15:00)

☎ 消費者ホットライン ☎ 188 (局番なし)

☎ 三重県消費生活センター相談窓口

☎ 059-228-2212 (平日9:00～12:00、13:00～16:00)



市で配布中のステッカー

防犯対策をして 安心安全なまちへ

自分でできる防犯対策をして、みんなで地域の中に防犯の目を光らせましょう。

不安なことがあったら、気軽に相談してください。



☎ いなべ警察署
☎ 84-0110